



杉山たかひのい ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel.35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ <http://yaplog.jp/jcpnishisugi/> (携帯も可)

UR借り上げ市営住宅問題

居住者が市と交渉(25日10時)

20年のURからの借り上げ期限が迫る5棟の市営住宅。西宮市はURに返還するとして、居住者に不安が広がっています。

日本共産党市議団は、6月議会であつたお議員が一般質問、7月25日午前10時の居住者による対市交渉もバックアップしています。

6月議会一般質問(6月27日)であつたお正秀議員が市議団を代表して質問。

市が借り上げ期間20年分URへの支払いを101億円だと説明していることについて、国の補助金や他の市営住宅でも必要な費用

も含まれていることを示し、「多大な負担」という根拠がないことを明らかに。

市が住み替え用市営住宅をあつせんするとしている

ことに対して、すでに2回行われた県の住み替え応募では、一部の住宅に応募が集中したものの4割の住宅には応募がなかったことをあげ、実際には希望する住宅に入れない状態だと指摘。

また、「高齢で転居は無理」との住民の声も紹介し、借り上げ延長や買い取りを真剣に検討するよう求めました。

これに対し市は、「期限での返還の方針は変わらない

い」「転居が困難とされる人たちには福祉部門の協力を得て不安のないようにきめ細やかに対応する」との答弁に終始。

さらに、6月20日の参議院災害対策特別委員会で、の山下よしき議員の質問で、災害公営住宅は国が関与した制度であることが確認されていると指摘。3月議会では「国の特段の支援を求めると答弁しており、あらためて文書で国に対して支援を求め、住民が住み続けられるよう対応すべきだと強く求めました。

居住者が要望まとめ、

西宮市と交渉へ

一般質問には、居住者を含め多数が傍聴に。他会派の議員も、「今日は何かあるのか」と、驚きの声をあげていました。

傍聴者からは「市の答弁は冷たい」との感想も。

その後、UR借り上げ住宅居住者の間で、「団結してがんばろう」という機運がさら強まり、西宮市との交渉が決まりました。

杉山たかのり議員が窓口となり対市交渉は、7月25日(水)午前10時より、西宮市議会2F・DE応接室で行われます。市からは、都市局長、住宅部長等が出席予定です。

住宅リフォーム助成制度 7月25日から募集開始

今年度からはじまる住宅リフォーム助成制度（市内業者を利用した場合に助成）が、いよいよ7月25日募集開始となります。それに先立ち、7月17日、制度創設を要望してきた阪神土建労働組合が説明会を開催、西宮市産業文化局産業振興総務課が実施要領を説明しました。

募集は7月25日から8月24日までとし、往復ハガキで応募します。9月3日に公開抽選が行われ、当選者には申請書類が郵送され、11月5日まで申請を受け付けます。決定後、工事が行われ、3月末までに実績報告書が提出されれば、助成金が振り込まれます。（市政ニュース、ホームページで紹介）

同組合委員長は、「阪神間トップで実施していただき感謝します」とあいさつ。担当課長は、「産業の活性化が目的。多くの方に利用してほしい。」と述べました。

説明会の発案は杉山たかのり議員。市民の利用促進には業者が制度をよく知ることが大事だと提案したもの。

今年度応募が殺到すれば、来年度の増額につながります。

地域経済活性化の起爆剤になればと思います。

（右写真 担当課長が説明）

